

糖尿病対策専門委員会

(令和5年度)

糖尿病対策専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 糖尿病対策専門委員会

委員長 大野 晴也

I. 年間活動概要

(1) 第8次広島県保健医療計画における糖尿病対策について、(2) 令和4年度及び令和5年度の糖尿病医療連携に関する各地区及び各関係団体の取り組みや活動について、(3) 令和6年度の糖尿病医療連携に向けて、下記の日程で報告・協議した。

第1回：令和5年8月30日（水）

第2回：令和6年3月7日（木）

(1) 第8次広島県保健医療計画における糖尿病対策について

広島県より、糖尿病対策に関する第8次保健医療計画について、第1回では素案における現行計画からの変更点について確認があり、第2回で最終案についての説明があった。糖尿病対策における保健医療計画の構成としては、現状、課題、目標、施策の方向、医療連携体制となっている。

現状の項目において、「糖尿病地域連携クリティカルパス」は利用地域が限られているため文言削除が提案された。委員からも実態にそぐわない地域についての意見があり、削除されることになった。「糖尿病性腎症の管理が可能な医療機関数」と「糖尿病足病変の管理が可能な医療機関数」に関しては、現在の診療報酬の施設基準を基にした算出方法では実際に慢性合併症治療を行う医療機関に求められている事項を満たしているか確認できないことから項目の削除が提案された。委員からは医療機関数を保健医療計画に掲載する意義について、合併症管理と対応可能な医療機関を増やすことの重要性についてなどの意見があった。

課題については、保健医療計画全体を通じて、予防・治療・共生の3つの項目に統一するという方針にあわせ記載を変更し、市町事業である「糖尿病性

腎症重症化予防事業」の参加者が増加していない点についても追記した。

目標では、特定健康診査・特定保健指導実施率の向上と糖尿病性腎症による新規透析導入患者数の減少を設定した。透析患者数の減少の目標値に関しては、委員より、具体的な目標値設定の必要性について意見があり、他県と比較可能な「10万人あたりの糖尿病性腎症による新規透析導入患者数」を指標として、直近3年間の平均値を、全国平均値以下にすることを目標値に定めた。

施策の方向について、項目を予防・治療・共生に変更し、合わせて内容も組み替えた。また、「糖尿病性腎症重症化予防事業」の活用促進に向け、プログラム改定の議論や事業の効果・必要性の理解を得るための働きかけを追記した。

医療連携体制においては、糖尿病診療拠点病院、糖尿病診療中核病院について、現行計画の内容と変更がないことを確認した。

(2) 令和4年度及び令和5年度の糖尿病医療連携に関する各地区及び各関係団体の取り組みや活動について

①各地区の糖尿病医療連携に関する取り組み

廿日市市では、例年、糖尿病を原因とする身体障害者手帳の新規申請件数が20件～25件の間で推移していたが、令和3年は16件、令和4年には5件まで減少しており、約15年間の地域連携推進の活動としてのアウトカムに繋がったものと実感しているとの意見があった。

庄原は無医地区が23地区あり、西城市民病院と庄原赤十字病院から移動診療車によって医師が赴き診療を行っている。新しいIT機器を搭載した移動診療車の導入など、無医地区の患者にハイブリッド形式で診療を届ける計画を進めているといった報告があった。

糖尿病患者の救急患者搬送が増えており、中でも SGLT2 阻害薬の使用増加に伴い、糖尿病性ケトアシドーシスの頻度が増えていることに対する注意喚起も行われた。

②各関係団体の糖尿病医療に関する活動

【広島県歯科医師会】糖尿病患者の医科歯科連携を進めるため、リーフレットやポスターなどの啓発資料を作成している。医療機関での活用を希望する場合は、県歯科医師会事務局へ連絡してほしい。

【広島県薬剤師会】糖尿病の重症化予防と未病対策に取り組んでいる。重症化予防では、投薬窓口で腎障害を防ぐための服薬指導を行い、未病対策では地域で糖尿病薬についての説明を行っている。

【広島県看護協会】毎年講演会を開催しており、7月にはフットケア研修を実施した。また、「広島レモンの会」でも年に数回講演会を開催している。

【広島県栄養士会】令和5年6月より、「ひろしま糖尿病栄養食事サポーター」事業を実施している。ホームページから申し込みが可能である。認知度向上のため、県医師会速報で広報してもらうことになった。

【広島県糖尿病対策推進会議】令和5年度より、11月14日の世界糖尿病デーに街頭啓発活動を再開した。また、血糖測定イベントも再開し今年度は198名が来場した。

【広島県糖尿病協会】DiaMAT（災害時糖尿病医療支援チーム）は、令和6年1月の能登半島地震で一部の県から出動したが、認知度が低いため、JMATと連携して活動した。今後、日本医師会からJMATとDiaMATの連携に関する通知が発出される見込みである。

【広島県糖尿病療養指導士認定機構】認定者数が減少傾向にあるため、アンケートを実施し、改善に向けて取り組んでいる。

③「ひろしま DM ステーション」の遠隔による生活指導について

令和元年8月に広島県地域医療介護総合確保事業の助成により広島大学に設置された「ひろしま DM ステーション」の活動報告があった。昨年度までに遠隔医療を行った対象者の合計は2型糖尿病患者38名であり、電話での遠隔指導により食事療法・運動療法を6ヶ月実施した結果、体重及びBMIの減少や運動機能の上昇等が見られた。

④「糖尿病性腎症重症化予防事業」について

広島県より、市町国保における糖尿病性腎症重症

化予防事業の実績について報告があった。保健指導の結果としては、概ね維持・改善しており、事業実施の一定の効果が認められるものの、例年、eGFRの収集率がほかの検査結果よりも低くなっているため、収集率を上昇させることが課題であること、また受診勧奨の対象者は年々増えているにもかかわらず、同意率は減少傾向にあり、参加者数が減っているといった課題が述べられた。

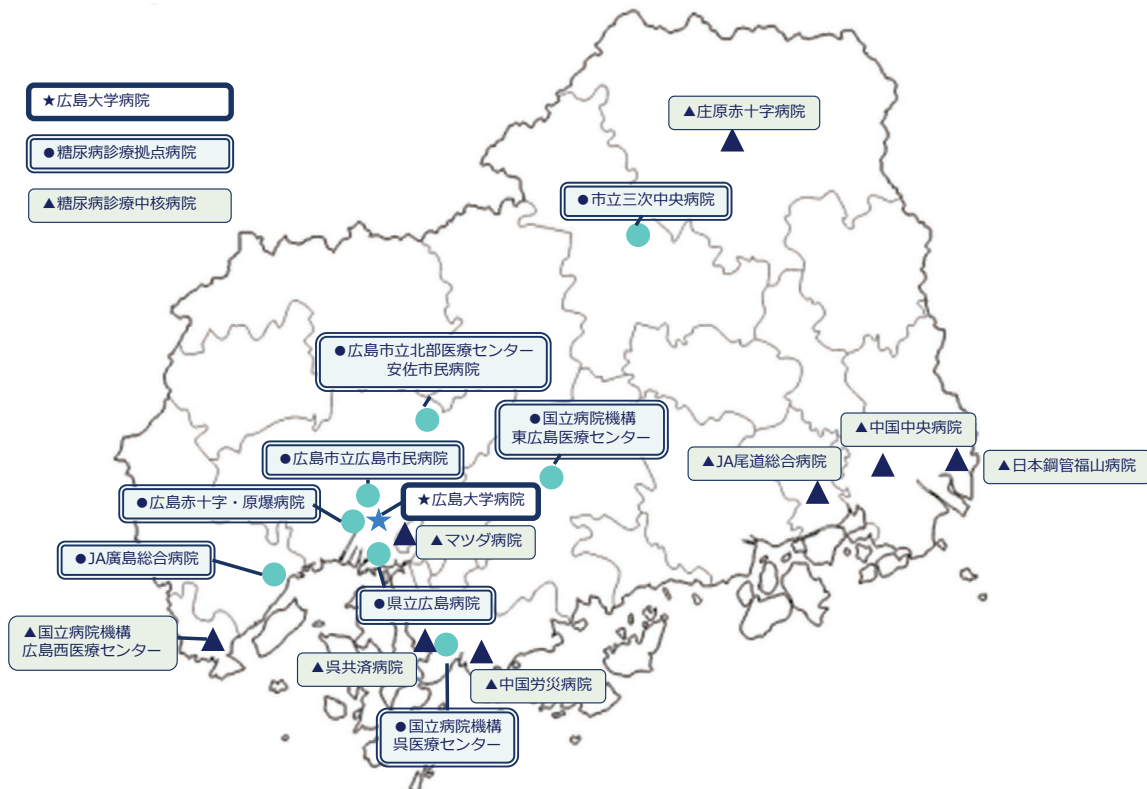
(3) 令和6年度の糖尿病医療連携に向けて

①「糖尿病診療拠点病院」及び「糖尿病診療中核病院」の指定

二次保健医療圏域（広島、広島西、呉、広島中央、尾三、福山・府中、備北）ごとに、少なくとも1つ以上の糖尿病医療連携の中心を担う医療機関を設置する目的で、広島県糖尿病診療拠点病院等指定要綱を定め、広島県知事の認定により、平成30年4月1日付で糖尿病診療拠点病院として県内8医療機関、糖尿病診療中核病院として9医療機関を指定した。令和4年3月末で、国立病院機構福山医療センターの糖尿病内科の常勤医師（専門医）が異動し、複数の医療機能を担うことが難しいため、糖尿病診療中核病院から外すことが決められた。令和5年から再度糖尿病専門医の在籍が確認されたが、同医師の勤務形態が不定期であることから、やはり急性期の糖尿病診療を担うことが困難であることが考えられ、福山医療センターは糖尿病診療中核病院から外れたままとなった。令和6年度は、第8次保健医療計画への改正に伴い、糖尿病拠点病院等の再指定について要綱の改正と各病院の確認と更新を行っていく。

②「ひろしま DM ステーション」の遠隔による生活指導について

糖尿病医療が不足している地域において遠隔指導を行い、糖尿病の重症化を防ぎ、食習慣や運動習慣、歩数などの身体機能の改善を目指す。メッセージツールのLINEはシニア層でも60代で76.4%、70代で69.0%と高い利用率を誇り、全世代に浸透したインフラツールとして広く利用されている。LINEの公式アカウントを作成し、昨年度までの成果を活かして広くクリニックなどにも協力を依頼し、より多くの患者を対象に、定期的なデジタルナッジ（行動変容のきっかけづくり）や生活習慣の把握、個別指導などの遠隔医療を実施する。



(広島県保健医療計画)

4 糖尿病の医療連携体制 ※県医療機能調査による。(基準日:平成29年12月1日)

健康福祉局健康づくり推進課
令和4(2022)年4月1日現在

二次保健医療圏	医療機関等の名称	所在市区町	初期・安定期治療				急性増悪時治療	慢性合併症治療						
			初期	安定期	教育治療	専門治療		網膜症	腎症	神経障害	冠動脈疾患	足潰瘍	歯周病	
広島	広島市立広島市民病院	広島市中区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	広島赤十字・原爆病院	広島市中区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	広島大学病院	広島市南区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	県立広島病院	広島市南区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	広島市立安佐市民病院	広島市安佐北区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	マツダ株式会社 マツダ病院	府中町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広島西	国立病院機構 広島西医療センター	大竹市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	JA広島総合病院	廿日市市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
呉	労働者健康安全機構 中国労災病院	呉市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国立病院機構 呉医療センター	呉市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国家公務員共済連 呉共済病院	呉市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広島中央	国立病院機構 東広島医療センター	東広島市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
尾三	JA尾道総合病院	尾道市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福山・府中	日本鋼管福山病院	福山市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	公立学校共済組合 中国中央病院	福山市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
備北	市立三次中央病院	三次市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総合病院 庄原赤十字病院	庄原市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



広島県地域保健対策協議会 糖尿病対策専門委員会

委員長	大野 晴也	広島大学病院内分泌・糖尿病内科
委員	天野 純子	広島県医師会
	石田 和史	JA 広島総合病院
	太田 逸朗	広島西医療センター
	岡村 緑	呉共済病院
	亀井 望	広島赤十字・原爆病院
	久保田益亘	呉医療センター
	黒田 麻実	JA 尾道総合病院
	小出 純子	東広島医療センター
	瀬川 和司	広島県歯科医師会
	長 久美	広島県栄養士会
	箱田 知美	日本鋼管福山病院
	橋本 成史	広島県医師会
	濱井千年世	広島市健康福祉局保健部健康推進課
	藤川 るみ	グランドタワーメディカルコート
	堀江 正和	市立三次中央病院
	水木 一仁	広島市立広島市民病院
	望月 久義	県立広島病院
	山崎 優介	広島県看護協会
	山下 十喜	広島県健康福祉局健康づくり推進課
	山根 公則	NTT 西日本健康管理センタ
	吉田亜賀子	広島県薬剤師会
	米田 真康	庄原赤十字病院